

質問回答

NO.	質問	回答
1	仕様書等(3)業務・オンライン認定手続きの概要 「図2オンライン認定手続きのサーバーレス構成」とあるが、図を見るにサーバーレスではなく、AWS上にサーバーが構成されている。 タイトルが正しく図が間違えているか、それとも図が正しくタイトルが間違えているかどちらですか	タイトルが誤植であり、正しいのは認定システムサーバー構成図になります。大変失礼いたしました。
2	仕様書等12ページ(3)改修業務 機能改修が2件あると思いますが、こちらの詳細な仕様は落札後、関係者と協議の上、要件定義から改修作業を行うという認識で良いですか。	ご認識のとおりです。
3	仕様書等12ページ(3)改修業務 機能改修のスケジュールについて記載がありませんが、役務期間内に改修が完了すればいいのでしょうか	スケジュールについては環境省担当官と協議の上で調整しますが、役務期間内に改修を完了します。
4	仕様書等12ページ(3)改修業務 改修に関する納品物は仕様書に記載通り計画書と実施要領のみとなり、設計書などの成果物は不要ということでしょうか	ご認識のものに加え、仕様書に記載通り「改修作業報告書」も含まれます。また、設計書はあくまで成果を出すためのものであるため、成果物としての納品は不要ですが、改修に当たり設計書は確認する可能性があります。
5	仕様書等12ページ(3)改修業務 「品質調査結果」(項目追加)について、影響する機能や帳票数が不明瞭なため工数の積算ができません。入札前の想定より工数が膨らんだ場合、追加で発生した費用は請求できますか。 出来ない場合は、見積もりした工数内で実装可能な機能とするか、検討時点までの工数で精算となりますか	入札前の想定より工数が膨らんだ場合、それが当初想定し得なかった事由であれば変更契約を行います。影響する機能や帳票数が不明瞭とのことですが、入札に当たり必要な情報については、仕様書等25ページ8の項目により、必要資料の閲覧が可能ですので、仕様書等に記載の担当先までご連絡ください。
6	仕様書等12ページ(3)改修業務 改修計画書、及び改修実施要領の内容はどのようなものを想定していますか？具体的な章立てなどあればご教授いただきたいです。	章立てについては、改修機能、検証作業、工程数、スケジュール等の内容を盛り込むことを想定しております。また、一部の情報については、利用者と共有することも想定しております。
7	仕様書等24ページ 6 再委託に関する事項 改修業務の範囲に限り、再委託を検討しています。再委託の申請は落札後に申請する認識でいいですか	落札後ではなく、契約締結後に申請していただきます。
8	AWSの月額費用を教えてくださいませんか。	約1,100ドル前後となります。
9	改修は現状2件「下書き保存のロジック変更」と「品質調査結果(項目追加)」とのことですが、他に残課題は無い認識で良いでしょうか。もし残課題がある場合、2026年度に対応すべき課題は何件ありますでしょうか。	現時点において、改修については2件となり、残課題はありません。
10	利用者は6,500名ほどの理解しておりますが、その利用者からの問い合わせが直接来て対応する必要がありますでしょうか。 また、月の問い合わせ件数は平均で何件となりますでしょうか。	月の問合せ件数は、数件から十数件となります。法律の運用に関する問合せは環境省で行い、システム操作等に関する問合せがあった場合には、直接、対応していただくことがあります。
11	2025年度中に業務が停止するようなインシデントや障害がありましたでしょうか。また発生していた場合、発生原因はシステム側でしょうか、外部起因でしょうか。	停止するような障害は発生しておりません。
12	クラウド費用の平均月額もしくは、年間の費用をご教示ください。	一月当たり約1,100ドル前後、年間13,200ドル前後となります。

13	上記が提供できない場合は、クラウド費用を計算するために必要な明細と設定されている名称および利用ボリューム等をご教示ください。	上記を提供済みですので、本質問は回答済みとさせていただきます。
14	障害・問い合わせの状況について令和7年度の件数と概況をご教示ください。	月の問合せ件数は、数件から十数件となります。法律の運用について、システム操作について、それぞれ問い合わせがあります。法律の運用に関する問合せは環境省で行い、システム操作等に関する問合せがあった場合には、直接、対応していただくことがあります。
15	クラウドの引継ぎに関する制約はありますか。CSPでの契約で問題ないでしょうか。	AWSへの直接契約、CSPでの契約、どちらでも問題はありません。
16	OSやミドルウェアのバージョン情報をご教示ください。	下記の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ■ OS Amazon Linux 2023 (Kernel 6.1系) ■ アプリケーション基盤 Spring Boot (組み込みTomcat 10.1.15) ■ データベース Amazon Aurora PostgreSQL 16.8
17	プログラム言語、全体ステップ数をご教示ください。	プログラム言語はJavaになります。全体ステップ数は約75,000行です（コメント・空行含む）。
18	開発環境の構築手順書（もしくは開発環境そのもの）については受注後提供されると考えてよいでしょうか。	御指摘のとおり、受注後に提供予定です。
19	改修作業も必要になると理解しましたが改改版システムのリリース時期はいつごろでしょうか。	時期については契約期間内を想定しておりますが、請負業者と調整の上、決定いたします。
20	第三者による脆弱性診断は必須でしょうか。年1回を目安に、との記載があるため必須ではないとも読み取れました。	必要に応じて実施いたします。
21	仕様書には「クラウドサービスの契約を引き継ぐ」および「利用料は請負者が負担する」との記載がありますが、AWSアカウント（ルートアカウント権限）は環境省が所有し、請負者は支払代行のみを行う形でしょうか。それとも、請負者が自身の名義で契約を維持・更新し、請求を負担する形でしょうか。	アカウントは環境省が所有し、請負者は支払いを行います。
22	請負者が利用料を負担するにあたり、前年度（令和7年度）の月平均AWS利用実績額およびデータ転送量などの変動費の実績値をご提示いただけますでしょうか。非機能要件にデータ量等の記載はありますが、予算確保および精緻な見積算出のため、実績値に近い情報をご教示ください。	一月当たり1,100ドル前後、データ転送量は80G程度です。
23	「構築した事業者との調整が必要となる場合は請負者の費用負担で対応すること」とありますが、無償サポート期間（瑕疵担保責任期間）はいつまででしょうか。また、それ以降の技術的問い合わせに費用が発生する場合の想定単価等があればご教示ください。	構築事業者とは、令和7年9月30日から1年間の担保責任となっております。技術的問合せ費用については、構築事業者と協議の上、調整していきます。
24	「下書き保存ロジック変更」「品質調査結果の項目追加」等の改修業務について、画面遷移図、DB設計書、既存テスト仕様書の有無および想定テストシナリオ数をご提示いただけますでしょうか。自動テスト実装が原則とされているため、工数算定に必要な詳細情報をご教示ください。	入札に当たり必要な情報については、仕様書等25ページ8の項目により、必要資料の閲覧が可能ですので、仕様書等に記載の担当先までご連絡ください。 また、テストシナリオ数については、計画を立てる過程で環境省担当官と協議することを想定しています。

25	<p>利用者数の想定は記載されていますが、過去の運用実績において、月平均の問い合わせ件数（操作方法、不具合報告等）はどの程度でしょうか。また、対応時間帯（平日日中のみ等）の規定があれば併せてご教示ください。</p>	<p>一月当たり数件から十数件の問合せ件数となります。対応については基本的に日中となりますが、至急の原因調査・改善対策が必要な場合はこの限りではありません。</p>
26	<p>「第三者によるセキュリティ診断を受診すること」とありますが、診断機関の指定はございますでしょうか。また、診断対象範囲（OS、ミドルウェア、アプリケーション層、ネットワーク構成等）について指定があればご教示ください。</p>	<p>診断機関については、決まり次第、御連絡することになります。</p>
27	<p>サーバー環境はAWS利用と明示されていますが、保守用端末および作業環境については「請負者の責任において用意すること」とあります。環境省ネットワーク（LGWAN等）への接続要件や、専用VPN回線敷設の必要性はございますでしょうか。</p>	<p>本システムは環境省内のネットワークにはないので、必要性はありません。</p>
28	<p>令和8年4月1日の業務開始にあたり、前任事業者からの並行稼働期間（引き継ぎ期間）は確保されていますか？</p>	<p>現行業者と次年度業者の引継ぎ打ち合わせを1回設定しており、4月1日の業務開始までに引き継ぐことを想定しております。</p>